

令和3年度 第1回小金井市総合教育会議

日 時 令和3年11月24日(水) 午後4時00分～午後4時50分

場 所 小金井市役所第二庁舎8階 801会議室

出席者 9人

総合教育会議構成員

市長 西岡 真一郎

教育長 大熊 雅士

教育長職務代理者 福元 弘和

教育委員 岡村 理栄子

教育委員 小山田 佳代

関係者

学校教育部長 大津 雅利

生涯学習部長 藤本 裕

庶務課長 鈴木 功

庶務課庶務係長 中島 憲彦

事務局

企画政策課長 梅原 啓太郎

企画政策課企画政策係係長 東條 俊介

企画政策課企画政策係主任 前坂 悟史

欠席者 浅野 智彦 教育委員

傍聴者 0人

(午後4時00分開会)

◎西岡市長 それでは、定刻となりましたので、開会させていただきます。皆様、こんにちは。ただいまから令和3年度第1回小金井市総合教育会議を開催いたします。本日の進行につきましては、会議の主宰であります私が務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。なお、進行は着座のまま、また、マスクをつけたままとなります。どうか御理解いただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また、教育長、教育委員の皆様方におかれましては、日頃から小金井市の教育行政に多大なる御尽力をいただいておりますことに、心から御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

長きにわたる、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、学校の運営に、多くの関

係者の方々に御尽力をいただいているところでございます。子どもたちの学びを止めることなく、感染拡大の防止に取り組みながら、教育目標が達成されるように日々、御尽力いただいております。誠にありがとうございます。

さて本日は、本年度初めての総合教育会議となります。気持ちを新たに、委員の皆様から忌憚のない御意見を賜りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは早速、次第に沿って議事を進めてまいります。

◎西岡市長 議題第1号、新型コロナウイルス感染症に係る対応について議題といたします。本市の新型コロナウイルス感染症に係る市の主な対応に関し、総括的に御説明をさせていただきます。

度々、緊急事態宣言やまん延防止措置などが発出される中、市民の皆様には、不要不急の外出を控え、営業の自粛にも御協力をいただきながら、命を守る、暮らしを守る、地域を守る、市民サービスの基盤を守るという緊急対応方針の下、様々な対応や支援策に取り組んでまいりました。

これまで小金井市は、小金井市緊急対応方針を第7弾まで策定をしてまいりました。今年度は特に新型コロナワクチンに関しまして、市内医療機関による個別接種、大規模接種会場の設置など、医師会の先生方と協力して取り組んでまいりました。小金井市医師会、小金井市薬剤師会、小金井市訪問看護連絡会、大勢のスタッフの方や受託事業者、そして小金井市と、チームの力が発揮できるように鋭意取り組んでいるところでございます。

2回目の接種を終えた12歳以上の対象者の割合は、目標としている80%を超えました。これは10月末までに8割という目標を定めましたが、10月31日時点で8割を超え、11月21日時点、最新のワクチン接種率は、12歳以上の全対象者のうち、約84%の方が2回目の接種を完了したところでございます。引き続き、3回目の接種につきましても、鋭意準備を進めているところでございます。

なお、5歳から11歳までの年齢の方々へのワクチン接種に関しての最新の状況でございます。国からは、来年2月から接種を始められるよう、その準備を進めるべく要請されているところであります。

ワクチン接種に関しましては、内外より、非常に迅速に進められていると評価されているところでございますが、インフルエンザの時期にもなっておりますので、新型コロナウイルスワクチン接種に関しましては、小金井市の最優先事業と捉え、引き続き、この事業を進めてまいります。

現在、緊急事態宣言は解除され、一定、新規感染も落ち着いてきておりますが、感染の第6波も懸念されているところでございますので、今後も感染再拡大防止、感染予防対策に努めてまいり所存でございます。

本市では、11月6日から、新規陽性者数がゼロという日が今日まで続いているという状

況であります。この状況が続くことを願っているわけではありますが、第6波に備えつつも、感染拡大の防止と社会経済活動の両立を図りながらも、ワクチン接種を引き続き進めていく、現状ではそういう認識の下、取り組んでまいりたいと考えております。

それでは続きまして、教育委員会における主な取組について、報告させていただきます。

◎**大津学校教育部長** それでは、学校教育部から報告させていただきます。教育委員会におきましては、御存知のとおり、今年度は市内一斉の臨時休業は行わず、通常どおり登校を行いながら、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を続けてきたところでございます。2学期が始まる際には、変異株による感染拡大が懸念されておりましたが、現時点において、クラスターが発生することもなく、無事に学校運営ができていますと認識してございます。

日常の感染拡大防止策として、毎日の健康確認や給食時における手洗い、消毒、適時適切なマスクの着用徹底など取り組んでおり、ソーシャル・ディスタンスを保ちながら、運動会等の行事も開催しているところでございます。

また、昨年度から進めております、いわゆるGIGAスクール構想の一環として、1人1台の端末配付や通信環境の整備により、今後、学校が仮に臨時休業をした場合でも、子どもたちの学びを継続できる体制を整えてまいりました。

◎**藤本生涯学習部長** 続きまして、生涯学習部所管の図書館、公民館、スポーツ施設等の社会教育施設の対応につきましては、緊急事態宣言等により、利用人数、利用時間など利用制限を設けて、市民の安全を第一に考え、感染防止対策を取ってきたところですが、9月30日で緊急事態宣言が解除され、以降、リバウンド防止措置期間を経て、現在は基本的対策徹底期間となっております。国や東京都の指針、業種別ガイドラインを踏まえて、一定の制限はあるものの、ほぼ元どおりの運用となっております。

今後におきましても、施設の運営に当たっては、感染予防対策を行い、国や東京都の動きにも注視するとともに、対策本部・部会と連携し、引き続き市民の安全・安心のための方策を取ってまいります。

続きまして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会についてです。オリンピックが令和3年8月8日、パラリンピックが9月5日に閉会をいたしました。コロナ禍により無観客での開催となりましたが、感染防止対策を施し、小金井市内における全ての関連競技・事業が事故もなく安全に実施できたことについて、これまで東京2020大会に、準備段階からを含め、関わられた全ての関係者の方々、ボランティアの方、市内事業者の方、関係自治体、関係機関の方々に感謝するとともに、東京都の一自治体としての責務をしっかりと果たすことができたと考えております。

また、東京2020大会には、4人もの市内ゆかりの選手が出場され、その活躍に市民の方々も大変感動されたことと思います。今後、東京2020大会を通じたレガシーをしっかりと次世代につなげていくとともに、さらに本市のスポーツを推進してまいります。

◎**西岡市長** ありがとうございます。それでは、教育委員の皆様方から御意見や御感想が

あれば、ぜひお聞かせいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

◎**福元教育長職務代理者** これまで学校は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に細心の注意を払いつつ、教育活動を進めてきました。感染状況などに鑑み、宿泊行事は全て中止とせざるを得なかったことは残念ですが、運動会や合唱コンクールを行うなど、工夫しながら、少しでも教育活動の内容が充実するように取り組んできました。

また、1人1台の端末の活用についても、各校で研究と研修を重ね、より充実したものとなるよう、努力してきました。この間の現場の教職員の努力は、並々ならぬものであったと捉えております。こうした学校現場の努力を、ぜひ今後とも継続的に支援していただきたいと思います。

◎**西岡市長** ありがとうございます。その他、ございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

私からも、学校関係者並びに保護者の皆様、関係者の方々には、新型コロナウイルス感染拡大の防止に、様々な御意見もありましたが、御理解、御協力をいただいたことには本当に感謝を申し上げたいと思っております。何よりも、制約のある生活の中で、日々頑張っている児童・生徒たちが、こういった状況の中にあっても、学びが継続され、そして教育委員会が掲げる目標に向かって一丸となって歩んでいただけるよう、市長部局といたしましても、もちろん私たちも精いっぱい努力してまいります。

また、後ほど話題ともなるかもしれませんが、GIGAスクール構想につきましても、かなり早い段階からスタートしていただいております。各学校でいろいろな創意工夫をしていただいていることは、教育長から伺っております。今後とも継続的な御支援をとということの御要望はしっかり受け止めさせていただきたいと存じます。引き続き我々も努力してまいります。よろしく願いいたします。

◎**西岡市長** 続きまして、議題第2号、いじめ防止に関する取組について議題といたします。

◎**大津学校教育部長** それでは、いじめ防止に関する取組の推進について、報告させていただきます。昨年度、検討委員会における協議を重ね、小金井市いじめ防止対策推進条例を制定いたしました。それに伴い、今年度は、8月に第1回いじめ問題対策委員会を開催し、市の取組に対し、各委員から御意見をいただき、法令上のいじめの位置付けの理解促進やいじめ防止に資する児童・生徒アンケートの項目の再検討など、いじめ防止対策の更なる充実について取り組んでまいりました。また、条例制定に伴い、現在は、小金井市いじめ防止基本方針の一部修正を進めているところでございます。

◎**西岡市長** ありがとうございます。それでは、委員の皆様から、御意見、御感想等あれば、ぜひお聞かせください。

◎**岡村委員** いじめ防止の取組については、各教員の一層の理解促進と学校の組織的な対応の充実はもちろんですが、保護者及び地域の方々の理解と協力は欠かせないものです。市民

の皆様のご理解促進と協力確保については、市も教育委員会と一体になって進めていただければ幸いです。よろしく願いいたします。

◎西岡市長 御意見をいただきまして、ありがとうございました。これはとても大切なテーマであります。いじめ防止の取組は、子どもたちのためにも全力で取り組む必要があります。小金井市いじめ防止対策推進条例は、市議会の御議決をいただいて、この条例に基づく具体的な施策などは今、取り組まれている状況でもあります。小金井市も、教育委員会と緊密に連携をいたしまして進めていくことが非常に大切だと考えております。

貴重な御意見をいただきまして、誠にありがとうございました。その他、ございますでしょうか。では、次の議題に移らせていただきます。

◎西岡市長 議題第3号、東京学芸大学との連携についてを議題といたします。

◎大津学校教育部長 それでは、東京学芸大学との連携について、主に2点、報告させていただきます。まず、1点目は、G I G Aスクール構想の連立に資する連携についてでございます。御存知のとおり、本年度、N T Tコミュニケーションズ株式会社を含め、3者で連携協定を締結し、取組を進めてまいりました。

具体的には、N T Tコミュニケーションズ株式会社から、機器の操作方法やアプリケーションソフトの活用方法について助言を受けながら、学校が日々授業に取り組み、授業プランやP C操作の効果的な活用について、教科の専門性も踏まえながら、東京学芸大学の教授陣に意見をいただくことを重ねてまいりました。現在、各校の日々の授業は着実に変化してございます。

次に、2点目は、もくせい教室のさらなる充実についてでございます。東京学芸大学と覚書を交わし、大学の構内に、もくせい教室の新たな活動場所を設け、試行的な活動を9月から開始いたしました。大学内に活動場所を設けたことで、大学生の協力が多く得られるようになったことや、自然豊かな広々とした空間で活動の範囲が広がり、児童・生徒の通室も増えてございます。このように、例年以上に連携が充実しているところでございます。

◎西岡市長 ありがとうございます。それでは、委員の皆様から御意見、御感想等あれば、ぜひお願いいたします。

◎小山田委員 まず、G I G Aスクール構想に関しましては、実際に私ども、学校を訪問した際にも、P C端末を利用した学習の場面を目にすることが何度もありまして、連携が成果を生んでいるということを実感しているところです。また、3者の連携協定は1年間限定ということですが、今後もG I G Aスクール構想の実現が停滞することなく、進んでいくことを願っております。そして、もくせい教室の新たな取組に関してですが、実は先ほど、もくせい教室へ、教育委員の皆様と一緒に見学に行つてまいりまして、本当に学芸大学の自然の中にある、非常に落ち着いて、すてきな場所になっておりまして、本当に児童・生徒と保護者の期待が高まっているということも、私どもも認識をいたしました。それから、不登

校児童・生徒の数が、やはり増加傾向にあるということを考えますと、重要な事業であると思いますので、施設整備、人材等、あらゆる面において、さらに充実していけるように、市のバックアップを大いに期待しております。よろしくお願いいたします。

◎西岡市長 貴重な御意見をお聞かせいただきまして、ありがとうございました。また、もくせい教室のほうも視察に行っていたということ、お話を聞かせていただいて、ありがとうございました。現在、小金井市は6つの大学と包括連携協定を締結しております。とりわけ東京学芸大学とは、従前からいろいろなつながりがある状況です。特に教育の面においては、東京学芸大学の持つ様々な資源、こちらを有効に連携して生かしていただく、これは大事な取組で、私も大学との連携は小金井市のとても大切な取組だと考えております。

その中で、これらの取組を教育委員会で積極的に進めていただいております、子どもたちにとってよりよい環境ができて、すばらしい成果を上げていただいていると認識しているところでございます。施設につきましては、次の議題でも触れますが、公共施設マネジメントの中で、総合的な判断をするものと考えております。引き続きすばらしい取組を進めていただきたいと考えております。

また、教育委員会の御担当者の方にも御尽力いただいて、GIGAスクール構想については、初めて小金井市もNTTコミュニケーションズ株式会社、小金井市、東京学芸大学という3者で連携をさせていただき、協定を締結させていただきました。私もこの協定式に出席をさせていただいて、学芸大学の学長、また、NTTコミュニケーションズ株式会社の社長と直接お会いさせていただいて、いろいろな情報共有を行わせていただきました。それぞれの立場でこの協定には皆さんそれぞれが期待を持ってやっております。その3者の期待が形になるように、ひいては子どもたちにとって、この協定が有用なものになるということが何よりも大切だと思っておりますので、大熊教育長を始め、この3者連携もぜひ進めていただきたいと思っておりますし、小金井市といたしましても、この協定の推進に力を尽くしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

◎西岡市長 それでは続きまして、議題第4号、今後の課題についてを議題とさせていただきます。様々な課題があるところですが、本日は大きく2点、取り上げさせていただきたいと思っております。1点目が、学区域の見直しについて、そして2点目が、公共施設マネジメントについてでございます。

1点目、学区域の見直しにつきましては、JR中央本線連続立体交差事業が終了した後、適正な通学区域と適正規模の学校の実現を図るとしていただいております。さらに、昨年度策定した学校施設長寿命化計画などもありまして、将来的な児童・生徒数の動向などを見据えながら、通学距離の不均衡解消などに対応していくことが求められております。この間、指定学校以外の学校へ通学することを認めるために設定する調整区域、初めての取組になりましたこの調整区域などの具体的な対策についても説明いただいておりますので、浅野委員

にも参画いただいた第5次基本構想・前期基本計画の取組施策の一つとして、学区域見直しについて明記したことも踏まえまして、今一度、現在までの進捗及び今後の予定について、説明をお願いしたいと思います。

続きまして、2点目、公共施設マネジメントについてでございます。平成29年3月に策定した小金井市公共施設等総合管理計画について、今年度改定を進めております。皆様御存知のとおり、小金井市の公共施設のうち、学校教育施設は58%を占めています。また、多くの施設が建築から30年以上経過しております。現存する全ての施設を更新し、保有し続けることは財政的にも困難な状況であることから、今後の人口減少も見据えた施設のマネジメントを進めてきており、施設の総量抑制、民間活力の活用、保有資産の有効活用を大原則として進めております。

今後、人口減少、少子高齢化、コロナなどにより、財政状況は非常に厳しいものになると予想されます。過去のように、地方債を発行してどんどん施設の整備を進めていくという状況にはなく、全ての公共施設について聖域なく、各部局において施設を保有する必要性や在り方を検討していただき、公共施設マネジメント推進担当と連携を取りながら、計画的に施設の整備や最適な配置へ取組を進める必要があるものでございます。教育委員会におかれましても、引き続き御理解、御協力をお願い申し上げます。

なお、毎年、小池東京都知事と都内の首長との意見交換というのが行われていて、今年は6市の市長と小池都知事がオンラインでの直接のやり取りをする場面がありました。毎年、私からも、時間は限られておりますので、重要項目に絞って東京都知事に小金井市からのいろいろな要望を伝えてまいりましたが、今年度初めて10月22日に開催した東京都知事との意見交換会では、学校施設の建て替え、そしてその際の複合施設の建て替えに関しまして、小金井市としては検討を進めていく必要があるもので、ぜひ東京都や国に対してそういった複合的な施設の建設についても、様々な面から支援をお願いしたいということを要望させていただきました。

以上、申し上げました大きな2点につきましては、市民生活への影響も大きく、引き続き、市長部局、教育委員会と協力して取り組んでいただくことを期待しておりますので、よろしく願いいたします。

◎**大津学校教育部長** それでは、学区域の見直し検討を御説明いたします。喫緊の課題として検討してまいりました、調整区域についてでございます。

小学校では、第三小学校の通常学級数が令和2年度で26学級となり、他の小学校が17から21学級であることと比較し、突出して多くなっております。ハード面の受入れ体制を整えつつも、受入れ数そのものを緩和する必要があり、令和3年度におきましては、入学時にあらかじめ指定校変更を選択できる調整区域を、緊急的な対応として実施してまいりました。

調整区域の内容としては、第三小学校の学区域の入学予定の就学児について、保護者の希

望により、隣接の学校、第一小学校、第二小学校、東小学校、緑小学校へ指定校を変更するというものでございます。また、変更した場合には、当該児童の中学校への進学については、変更後の学区域の中学校に進学できるものとしております。

令和3年度入学時の実施につきましては、令和2年9月対象保護者へ事前アンケートを実施し、第一小学校へ13人、緑小学校へ5人、合計18人の希望があり、一定効果があると判断し実施しました。最終的に、第一小学校へ12人、緑小学校へ2人、合計14人の変更となりました。この結果、第三小学校の新1年生は128人で4学級となり、調整区域による指定校変更を行わなかった場合は、5学級必要となるところでしたので、第三小学校の大規模化に対して効果があったものと認識してございます。

さらに、令和4年度に入学する児童につきましても、緊急的な措置として実施することといたしました。同様に実施アンケートを実施し、第一小学校へ12人、緑小学校へ15人、合計27人となっており、効果があるものと考えてございます。

今後についてでございます。小学校におきましては、これまで学級編制につきましては、都基準で小学校1年生、2年生は35人学級でございましたが、今後、国の方針として、令和3年度から、小学2年生までを35人学級とし、順次、35人学級の学年を引き上げていくこととなりました。令和7年度には、6年生も35人学級となります。

また、近年では、児童数そのものも増加傾向にあります。学校長からは、教室が不足するという意見がありますが、将来、人口減少となると推測されていることから、学校施設長寿命化計画を含め、空き教室の利用、一時的な校舎の建設等により対応していきたいと考えております。

しかしながら、近年、特に駅前地域を有する学区域の小学校で、児童数が増えている傾向がありますので、全市的な学区域の見直しが必要と認識しております。見直しに当たりましたは、学区域には地元との結びつきが強い地域もございますので、そのような地域の御理解をいただけますよう、どのようなアプローチが有効なものかを含め、検討してまいりたいと考えております。

続いて、公共施設マネジメントについて、御説明いたします。

先ほど市長からもありましたが、平成29年3月に策定された小金井市公共施設等総合管理計画に示された、公共施設等の管理に関する基本的な考え方及び施設類型ごとの管理に関する基本的な方針を踏まえ、本年3月、学校施設に関する個別計画と施設計画として、小金井市学校施設長寿命化計画を策定いたしました。

この計画に基づき、学校施設の長寿命化改修や建て替えなど大幅な施設更新時に、子育て支援機能や地域機能など他施設との複合・多機能化について、児童数の動向を見ながら慎重に検討していくこととしておりますが、これまでの予測より学級数が増加する学校と増加のピークが早まる学校があり、計画の予定年次より前に、普通教室が不足する可能性があることから、今後、学校施設運営を支障なく継続していくためには、教室等の増設や、場合によ

っては、長寿命化計画における建て替え等の優先順位を見直す必要が生じており、現在、喫緊の課題として対応に当たっております。

今後、長寿命化計画の検討と並行して、急増する児童数への対応について、公共施設マネジメント推進担当をはじめ関係課と連携し、取組を進めてまいります。

◎**藤本生涯学習部長** 続きまして、社会教育関係施設の個別施設計画について御説明いたします。昨年度において、生涯学習課が主担当となって、社会教育施設個別施設計画を策定しました。この計画では、個別の施設ごとの具体的な対応方針を定めることを目的として、それぞれの施設の状況、現状を踏まえた、今後の計画的な修繕等の実施体制などを策定したものでございます。

今年度、市の施設全体の配置の最適化を目指す公共施設等総合管理計画の改訂版が策定されますが、図書館や公民館、また、総合体育館、さらに清里山荘など、様々な年代の多くの市民の方々に長い間、御利用いただいている施設を所管しています生涯学習部としましては、個別施設計画を踏まえて、人生100年時代を見据えた施設の在り方をしっかりと考えていきたいというふうに考えております。

◎**西岡市長** 現状の取組などについて御説明いただきました。ありがとうございました。それでは、ただいまの学区域及び公共施設の個別施設計画につきまして、委員の皆様方から御意見、御感想など、ぜひお聞かせいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

◎**福元教育長職務代理者** 学区域の関係につきましては、国レベルで見ると、多くの市町村で人口減少が見られる中、小金井市では逆の現象が見られていて、教室の確保など、大変なことと思います。

また、いつも申し上げているように、小金井市の学校は地域とのつながりが強いものと考えていますので、地域の意見もしっかり聞いていただき、丁寧に対応されるよう要望します。

◎**岡村委員** 市の施設全体に対して大部分を占めている教育委員会所管の施設は、学校を始めとして、人生の様々な場面で密接に関わっている部分です。そして、施設を充実させることによって、人生100年時代と言われている市民の暮らしを豊かにするものではないかと考えています。

市施設の将来的な在り方については、将来の人口動向に合わせた公共施設の総量抑制といった考えが基本となり、今後検討していくことになると思います。そのような全体方針において施設はどうあるべきかは、教育委員会においてももしっかり議論して、市長とも意見交換ができればいいと考えております。よろしく願いいたします。

◎**西岡市長** 貴重な御意見をお聞かせいただきまして、ありがとうございました。学区域の見直しは、様々な施策にも影響する大きな課題であると思っております。福元委員から御指摘をいただきました、小金井の学校は地域とのつながりが非常に強いので、丁寧な対応をとということで御意見をお聞かせいただいておりますので、教育委員会におかれましても、ぜひこの御意見はしっかり尊重していただきたいと思います。そして、教育委員会におか

れましては、引き続きスピード感を持って取り組んでいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

また、公共施設マネジメントについてでございます。策定いただいている各個別施設計画を踏まえ、計画的に取り組んでいただきたいと思いますと考えておりますが、実際の事業を進めるに当たりましては、公共施設マネジメント担当との連携、意思疎通をしっかりと図っていただきたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

この2点のみならず、たくさんの課題はあるわけでありますが、特に学区域の見直しと施設対応というのは、非常に重要な側面がありますので、皆様方とも意見交換をしながらというふうに岡村委員からは御意見をいただきましたので、私も教育委員の皆様方との意見交換の場、情報共有をしっかりと図りながら、大変難しい課題でもあるんですけども、いろいろな課題を乗り越えていけるように、しっかりと連携してまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

◎西岡市長 それでは、教育長から、本日の教育総合会議を受けまして総括的に御発言をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

◎大熊教育長 まずは、これまで教育委員会の様々な取組に対しまして、常に適切に対応していただきましたこと、誠にありがとうございます。この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。そのおかげをもちまして、現在、教育委員会としては、これまでの様々な懸案事項に取り組むことができ、一定の成果も上げてこられたというふうに考えております。

先ほども話題に上っていましたが、まず最初は、コロナ対策についてです。コロナ対策については、小金井市医師会、薬剤師会等、様々な御支援をいただきまして、小金井市の小・中学校では、学校が感染源となるクラスターを起こすことなく、現在に至っております。本当にこれは、子どもたちの安全・安心のためにも、大きな成果ではなかったかなというふうに認識しているところで、小金井市医師会等の皆様方にも、この場をお借りしましてお礼申し上げたいと思います。部局の方々にも、この件に関しては様々な御支援をいただきました。5歳から11歳までのワクチン接種など、今後も様々な面で御協力をいただきたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

続いて、いじめ防止条例の制定についてでございます。子ども一人一人の人権をしっかりと守って、安心して学校に通い続けることができるようにするためには、いじめのない学校というのがまず大切なことであるというふうに思います。その中で、子ども一人一人が自分らしさを発揮できるように、いじめをしない、そして、いじめを見逃さないという取組を、一層努力してまいりたいと考えております。いじめ防止条例の制定をきっかけとして、更なる安心・安全の学校を作りたいと思っております。そのことに関して、また部局の皆様方にも御協力をいただきたいと思いますというふうに思います。

3つ目は、先ほども話がありました、学大連携のことについてでございます。学大連携は、まず最初に、今、NTTコミュニケーションズ株式会社、東京学芸大学と3者連携協定を結びましてICTの研究に進むことができたのは、今回のGIGAスクール構想のことについて、いち早く御理解をいただき、予算計上等をしっかりといただきました。そのかいがあって今回、進んでいるものと私どもは認識しております。

御礼ばかりでございますけれども、本当にありがとうございました。それがなければ、子どもたちのこのようなGIGAスクールも、進めなかったのではないかなというふうに思います。

御礼の一環として、先ほども話がありましたけれども、先日、私ども教育委員が、教育委員会訪問というのがありまして学校に訪問させていただきました。2時間の授業を見るということだったんですが、実は全クラスが、全授業でICT、いわゆるタブレットを活用した授業を行うところを見せていただきました。

これは、タブレットの整備だけではなくて、インターネット回線が充実していたということも大きな成果であると思います。それから、このぐらいまでできるようになったということは、先生方の御努力もたくさんあったんだと思いますが、それを支えていただきましたNTTコミュニケーションズ株式会社、それから東京学芸大学の先生方にも、また改めて御礼申し上げたいと思います。

学大連携のもう1つの内容です。学大もくせい教室と言っているんですけど、東京学芸大学に新しくもくせい教室を設置できました。来年4月から本格稼働ということなんですけれども、今、子どもたちはそこで充実した時間を過ごすことができるようになっております。

学大もくせい教室に今日、委員の皆さんと一緒に見学に行ったところなんですけれども、そこにあるホワイト黒板に、今度のクリスマス会の計画が大きく書かれてありました。子どもたちがここで主体的に、みんなで新しいクリスマス会を計画するということは、学校で何らかの原因で、友達とうまく関わることにちゅうちょするようになった子どもたちが、今、改めて、もくせい教室に来ている子どもたち同士で力を合わせて、クリスマス会を作り上げようとしている姿は、本当にうれしい限りでした。

こういう活動が充実することによって、子どもたち一人一人の自己肯定感が高められることが、学校経営の一つの道になるのではないかなと考えた次第です。

4つ目は、気候非常事態宣言の発出ということについてでございます。聞くところによりますと、教育委員会も連名というのは日本初ということですので、非常に緊張しながら、この取組を前向きに取り組んでいこうということを考えているところでございます。

一つは、ハチドリプロジェクトといたしまして、どんな小さな取組でもいいから、自分たちのできることをまずやってみよう、そして続けていこう！ということで、地球環境に対してより優しい生活ができる、どんなことができるかということ、各学校、一人一人が考えてもらうことに今、一歩踏み出しました。また、今回開かれる小金井教育の日においても、生

徒会の皆さんに、こういう意見を聞いていきたいというふうに考えているところです。

そういう子どもたちの様々な工夫もあるんですが、小学校6年生が実施している清里山荘での移動教室では、清里山荘周辺の森林保全についても、実は学芸大学のお力を借りて、一歩進み始めました。コロナ禍で全ての移動教室が中止になったのですが、小金井第一小学校は、日帰りで清里まで行き、森林伐採経験をすることができました。そういうことが、今後各学校に広まっていければいいかなと考えているところです。

最後に、公共施設マネジメントのことについてです。この間、校舎の長寿命化に向けた計画を策定してきているんですけども、35人学級という新しいことも始まり、また、東京都で最も子どもが増えているという市でもあります。子どもたちの確かな学びを実現するためには、教室確保が何より重要な視点でございます。このことに関しては、今後、多くの御負担をかけることになるかもしれませんが、子どもたち一人一人の教育をしっかりと実現するためにも、特段の御配慮をいただきたいということをこの場で申し上げたいと思います。どうかその点、よろしく願い申し上げます。

◎西岡市長 教育長、どうもありがとうございました。総括的に様々な状況、近況を含めてお話をいただきました。ありがとうございました。また、教育委員の皆様、今日は総合教育会議に御出席をいただきまして、誠にありがとうございました。私のほうから、最後に一言、発言をさせていただきまして、今日の会議については終了させていただきたいと思います。

本日は大変重要なテーマを議題とさせていただいて、情報共有を図らせていただいたり、教育委員の先生方から、いろいろな御意見やお声をお聞かせいただきまして、ありがとうございます。

たくさんの課題があるわけでありますが、まずは何よりも新型コロナウイルス感染症というものをしっかり乗り越えていくということが大切だと思っておりますし、当面ウィズコロナという状況が続きますが、感染拡大の防止策にしっかり取り組みながらも、小金井市の児童・生徒が目標としている様々な力をいろいろな創意工夫の下に付けていくことができるように、大切な力を地域の方々や学校関係者の方々によってお育ていただきたいと、まずは心から願っておりますし、市長部局も精いっぱい努力してまいります。

今、こういう状況なので私もなかなか学校訪問ができず、コロナ発生前は子どもたちと一緒に給食を食べるということで、14校全部回っておりました。しかし、コロナによってその取組もできなくなってしまっていることがとても残念なんですけれども、それでもこきんちゃんあいさつ運動ということで、校門に立って子どもたちと朝元気に挨拶を交わしたり、可能な限り機会を捉まえて子どもたちの様子は私もなるべく感じ取るようにしているところです。

しかし、いろいろな課題がある中でも一生懸命前向きに頑張っている子どもたちの姿は拝見しております。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

また、教育長からお話がありましたが、小金井市では、地球温暖化対策地域推進計画とい

うのを作りまして、その中で、環境教育にも力を入れていこうということになっております。私としては、今、地球温暖化というものが地球人類共通の重要課題ということで、皆様御承知のように、世界規模でいろいろな宣言や目標が定められていて、日本の政府もこれまでにない方向性を打ち出してきています。

私としても、小金井市の気候非常事態宣言というものを発出する準備を進めております。その中で、未来を担う子どもたちにも、ぜひ環境教育というものにも取り組んでいただきたい、そういう願いを込めまして、市長と教育長の連名で、この宣言の発出をする準備を進めております。既にパブリックコメントも終わりました、パブコメや市議会や市民の方々からいただいた御意見を基に最終的な宣言文の調整に入っているところで、年明け早々に小金井市として宣言をさせていただきたいと考えております。

いじめのない小金井市宣言というのが以前ありましたけれども、それは教育委員会ではなくて市長部局としての宣言を、恐らく平成前半の頃の男女平等都市宣言以来、20年ぶりぐらいの宣言になるかと思っておりますが、市長と教育長の連名という初の宣言ということになりまして、この宣言の下に環境教育についても以前より一歩踏み出す、そういうきっかけにもなればと願っているところでございます。どうぞよろしく願いいたします。

日頃から小金井市の教育行政における課題に対し、真正面から取り組んでいただいております教育委員会の皆様には、ここで改めて御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

今後につきましても、引き続き皆様からのお力添えをお願い申し上げまして、閉会の挨拶に代えさせていただきます。

以上で、予定した議題は全て終了いたしました。これをもちまして、令和3年度第1回総合教育会議を終了いたします。

皆様、本日はありがとうございました。これからもよろしく願い申し上げます。

(午後4時50分閉会)